

RETURN OF THE RUDEBOY展 -DEAN CHALKLEY × HARRIS ELLIOTT-

UKストリートカルチャーのルーツが今蘇る

昨年6月から8月にかけて、ロンドンのサマーセットハウスで開催され6万5千人以上の来場者があり大きな話題となった“RETURN OF THE RUDEBOY展”の海外初となる日本巡回展を3月20日(金)から3月26日(木)まで、原宿のラフォーレミュージアムで開催します。

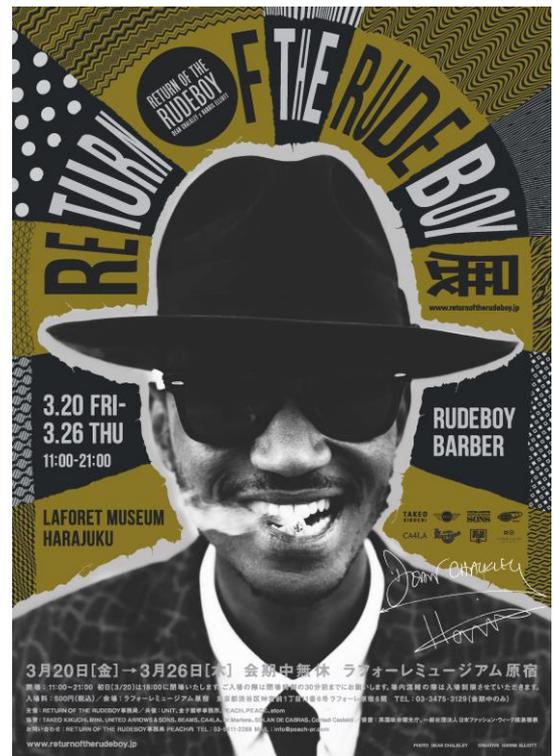
The Exhibition

フォトグラファーのディーン・チョークリーとスタイリストのハリス・エリオットにより、この展覧会の為に新たに撮り下ろされた写真は、1人1人がスタイルを持って個性的に着こなしたスタイリングで、説明の要らないルードボーイそのものであり、イメージ、フォルム、インスタレーション全てがその時代の人々のライフスタイルをCOOLに表現している。彼らは、長年にわたり、共にコラボレーション活動を行っている。ルードボーイの復活に目を向けていた中、その情熱が同じであることを確認し、このプロジェクトをスタートさせた。

History

第二次世界大戦後、イギリスへ多くのカリビアン人の若者達が移住した。そこで、ファッショナブルなストリートカルチャーにのめり込んでいった一部の若者達をジャマイカスラングで”ルードボーイ、ルードガール(不良少年、少女)”と呼び60年代のクールな存在とされていた。その流れは70年代の後半から80年代の初めに復活し、スペシャルズやマッドネスに代表されるブリテッシュ・スカや2トーンが流行り、その中に溶け込んでいった。

60年経った今日、似たようなスワッガースタイルで、再び新しい波となってやってきた。ロンドンだけに留まらず、UK全土でそのルードボーイ・カルチャーは、具現化されている。



会期： 3月20日(金)~3月26日(木)11:00~21:00(会期中無休)

* 初日(3/20)は18:00に閉場いたします。ご入場の際は閉場時刻の30分前までにお願います。
場内混雑の際は入場制限させていただきます。

会場： ラフォーレミュージアム原宿

東京都渋谷区神宮前1丁目11番6号 ラフォーレ原宿6階 TEL:03-3475-3129(会期中のみ)

入場料： 500円(税込)

主催： RETURN OF THE RUDEBOY 事務局

共催： UNIT, 金子繁孝事務所, PEACH, PEACE, atom

協賛： TAKEO KIKUCHI, MINI, UNITED ARROWS & SONS, BEAMS, CA4LA, DR.MARTENS AIRWAIR JAPAN, SOLAN DE CABRAS, Contadi Castaldi

後援： 英国政府観光庁, 一般社団法人 日本ファッション・ウィーク推進機構

URL： www.returnoftherudeboy.jp

RETURN OF THE RUDEBOY 事務局 PEACH 内 担当：中村
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-11 MF神宮前4階
TEL : 03-5411-2288 FAX:03-5411-6633 info@peach-pr.com

Dean Chalkley (ディーン・ チョークリー)

UKを拠点に活躍する才能ある名高いフォトグラファー・フィルムメーカーであり、今までに多くの音楽アルバムや雑誌のカバーを飾る。好奇心旺盛なディーンは、多岐にわたるジャンルやスタイルにも興味があり、音楽も作り上げてしまう程のマルチクリエイターでもある。

URL : <http://www.deanchalkley.com/>

**Harris Elliott (ハリス・ エリオット)**

クリエイティブディレクター、スタイリスト、デザイナー。スタイルとカルチャーを融合させて創り上げるスタイリングに定評があり、ジャマイカ、キングストンのカルチャーとオリンピックとの融合やミュージシャンのスタイリング、東京でのコレクションのディレクションまで多岐にわたって活躍。日々の生活の中で人々からインスピレーションを受けている。

URL: <http://harriselliott.com/>

